

# 美波町スマートシティモデル事業実行計画（徳島県海部郡美波町）

少子高齢化や過疎化が引き起こす地域課題と、南海トラフ地震による県下最大の津波リスク対策の課題に対し、平常時と災害時の両面に資する低コストで実装性の高い小規模自治体向けの地域課題解決型のスマートシティを目指す。

### 目標

※目標年度 2030年度

代表KPI①平常時 空家利活用につながるサテライトオフィス進出企業数：累計40件  
 代表KPI②災害時 町民の防災意識の高まりの指標となる避難訓練参加者率：20%  
 個別KPI（一部） 「健康」「安全・安心」「防災」関連の指標となる1日のタグ・アプリ稼働数：1,400人/日

### 取組概要

“止まらない通信網”をIoT基盤インフラとし、「産業振興」「健康」「安全・安心」「防災」の4分野に対する新技術を導入するスマートシティモデルの実装を目指す。

方針	平常時 人々の営みを維持し、美しい町を守る	×	災害時 災害死者数をゼロにする
課題	生業の維持 × 過疎化担い手不足 × 高齢者の増加 × 感染症対策 × 南海トラフ地震による津波災害 × 気候変動による大規模災害		
分野	1. 基盤技術・コミュニケーション 2. 産業振興 3. 健康 4. 安全・安心 5. 防災		
先進的技術導入	1.(1) 減災に強い通信網の全町展開 1.(2) データプラットフォームの構築 1.(3) 地域住民へのスマートシティの浸透 2.(1) 人材確保（ポータルアプリ開発等） 2.(2) 作物等の獣害被害の削減 2.(3) 観光スポットにおける洗滞感知 3.(1) 健康づくり、健康増進（健康ポイント、分散型台帳技術構築による展開拡大） 4.(1) 高齢者・子供の見守り（スマホ・ICタグ） 4.(2) 情報発信（無線電サイネージの導入） 5.(1) 発災時の位置情報取得（スマホ・ICタグ） 5.(2) 防災教育・啓蒙 5.(3) 発災初動対応強化（冠水センサー） 5.(4) リアルタイムの情報収集 5.(5) 減災に繋がる事前対策（土砂崩れ、橋梁等加速度センサー）		

凡例 平常時 災害時

### 将来像

**安全・安心**  
 高齢者・子供の見守り（スマホ・ICタグ）  
 情報発信（無線電サイネージの導入）

**基盤技術・コミュニケーション**  
 データプラットフォームの構築  
 ● 減災に強い通信網の全町展開  
 ● 地域住民へのスマートシティの浸透

**健康**  
 健康づくり、健康増進（健康ポイント、分散型台帳技術構築による展開拡大）

**防災**  
 発災時の位置情報発信  
 減災に繋がる事前対策（土砂崩れ）  
 防災教育・啓蒙  
 リアルタイムの情報収集（スマホ等）  
 発災初動対応強化（冠水センサー）

**産業振興**  
 観光スポットにおける洗滞感知  
 作物などの獣害被害の削減  
 人材確保（ポータルアプリ開発等）

### 体制

**民間企業**

- 三井共同建設コンサルタント株式会社（構成員）【事務局長】
- 株式会社Skeed（構成員）【事務局】
- 株式会社あわせ（構成員）
- 株式会社イーワーズ・ジャパン（構成員）
- サイファー・テック株式会社（構成員）
- 株式会社電信（構成員）
- ニタコンサルタント株式会社（構成員）
- 古野電気株式会社（構成員）
- 株式会社レーザーシステム（構成員）

**行政**  
 徳島県美波町（構成員）【事務局】

**県・UR**

- 独立行政法人都市再生機構西日本支社（構成員）
- 徳島県南部総合県民局（構成員）

**有識者**

- 徳島文理大学（構成員）【委員長】
- 徳島大学（構成員）
- 阿南工業高等専門学校（構成員）

注：（美波町スマートシティコンソーシアム）  
 【止まらない通信網活用減災推進委員会】

### スケジュール

フェーズ	実証1【PoC#1】	調査計画	実証2【PoC#2】	実装1【短期】	実装2【中長期】	運用
	2017年度～	2020年度～	2022年度～	2024年度～	2026年度～	2030年度～
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年度日和佐地域の一部で止まらない通信網を設置し、実証実験を開始</li> <li>2018年度健康ポイントの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートシティモデル事業実行計画の策定</li> <li>2021年度では事業可能性調査を実施し、事業計画の深度化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日和佐地域、②由岐地域、③赤松地域の3地域において、「安全・安心」「防災分野」を中心に実証実験を実施</li> <li>データプラットフォームの具体検討および実証開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12地域へ順次止まらない通信網を実装</li> <li>優先順位の高い新技術の導入（3(1)健康づくり、健康増進、4(1)高齢者・子供の見守り、5(1)発災時の位置情報取得等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12地域へ順次止まらない通信網を実装</li> <li>中長期的に位置付けた左記以外の新技術の導入</li> <li>データプラットフォームの実運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止まらない通信網を12地域で完全設置</li> <li>全サービスの実運用</li> <li>他市町村への横展開</li> </ul>